

ガスセンサ評価試験装置のご案内

脱炭素化社会実現に向けて、**ガスセンサ**の需要が高まり、開発が激化しています。
チノならではの**ガスセンサ評価試験装置**で、試験データの取得をサポートします。
また**次世代自動車CASE**における**各種センサデバイス開発評価**でもご相談下さい！

ポイント1 長年のノウハウ・技術

- ・各パートの**詳細設計**には、
燃料電池や**触媒**の評価試験装置の**温度・露点・水分量管理**が活かされています。
- ・特に**供給ガスの水分量を安定**させる技術に自信があり、**安定したデータ**の取得に繋がります。



ポイント2 計測機器メーカーならではの

- データのさらなる活用のご提案が可能！
- | | | | |
|--|---|---|--------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> 制御 計測 記録 | → | <p>パッケージソフト
CISAS</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動運転 ・安定判別 ・遠隔/集中監視 ・リモートメンテ | <p>など
多彩なソフト対応
が可能</p> |
| <p>装置</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・豊富なラインナップ (調節計、記録計、センサ など) ・トレーサビリティ のとれた機器 | |
| <p>試験データ</p> | | <ul style="list-style-type: none"> ・信頼性における試験データの取得 ・データ集録ソフトも完備 <p>→試験データを分析・活用しやすい！</p> | |

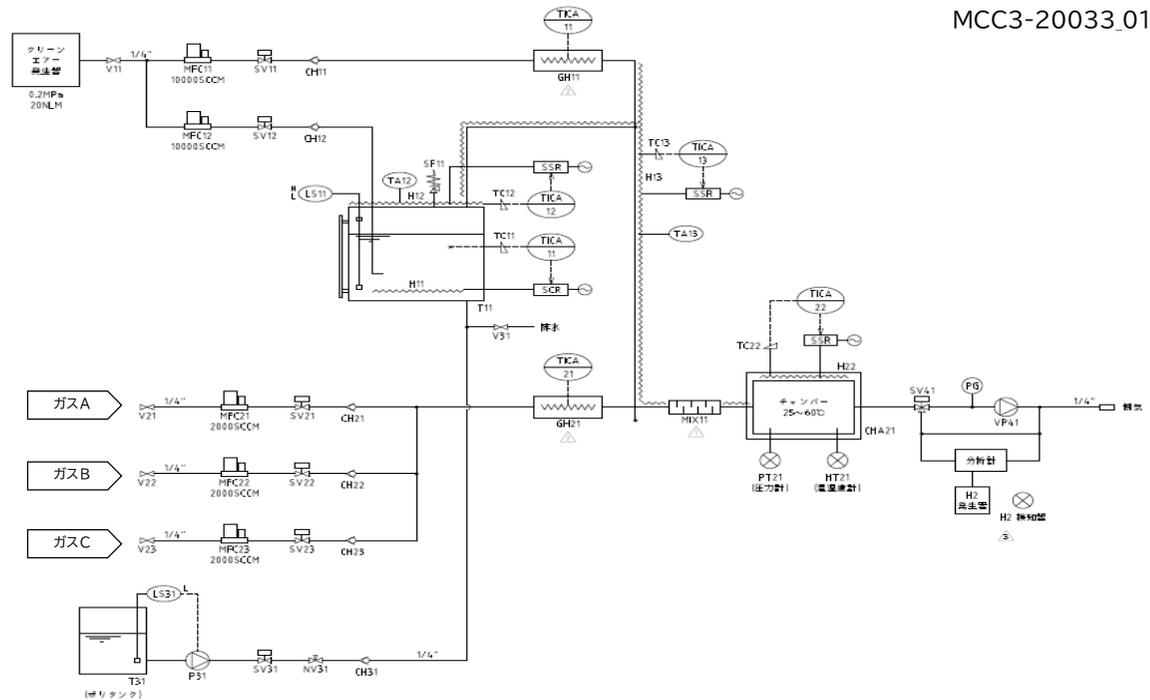
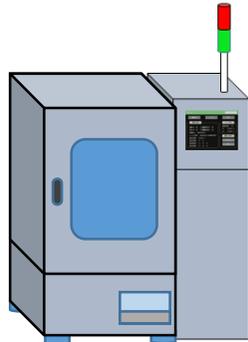
ポイント3 カスタマイズ設計が可能

サイズ

- ・設置スペースにあわせた 装置寸法
- ・コンパクト設計も OK

構造

- ・試験方法、用途に沿った設計
- ・恒温恒湿試験にも対応



ポイント4 チノはJCSS認定業者 『信頼できる試験データの取得』をサポートします！

国際相互承認プログラム(MRA)により国外でも有効なJCSS校正証明書



株式会社チノ標準技術部は、認定基準としてISO/IEC17025を用い、認定スキームをISO/IEC17011に従って運営されているJCSS(計量法校正業者登録制度)の下で認定されています。JCSSの認定機関であるIAJapanは、アジア太平洋認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。0024は当社標準技術部の登録番号です。



引き取り校正

現地校正

レコーダ + センサなどの組み合わせでJCSS校正が可能

現場にお伺いして点検・校正サービスを実施できます



日常的なチェックに

データの信頼性担保に役立ちます

小形校正装置KT-H504

- ・ 定期管理
- ・ 測定前のチェック



※この資料の記載内容は2021年6月現在のものです。